

「東日本大震災・公民協働災害復興まるごとデジタルアーカイブス」
(プロジェクト略称：311まるごとアーカイブス)
— 千年先の後世に伝える巨大災害の記録 —

趣 意 書

3月11日に発生した東日本大震災は、多くの人命を奪い、地域社会に壊滅的な被害を与えました。この経験や教訓を人類共通の資産として千年先の後世に伝承し、安全な社会を構築することが現世代の責任です。

そこで、被災地の失われた「過去」の記憶をデジタルで再生し、被災した「現在」と復興に向けた「未来」の映像や資料をデジタルで記録し、まるごとアーカイブすることを目的として、「東日本大震災・災害復興まるごとデジタルアーカイブス」(プロジェクト略称：311まるごとアーカイブス)を発足しました。

本プロジェクトは、現在、被災された市民の方々や被災自治体、国の研究機関、大学、NPO、ボランティア、民間企業等が協働で取り組んでいます。アーカイブされた映像や資料等のデジタルコンテンツは、個人情報や肖像権、著作権に配慮した上で、原則、インターネット上で公開するとともに、協力いただける図書館や博物館、科学館、大学、研究機関等で閲覧し提供できることを目指し、被災地の復興まちづくりの資料として、また、防災学習や防災研究等の貴重な資料として、日本全国をはじめ全世界で活用されます。

既に、被災された方々、自治体、公的機関、民間企業、大学、研究機関、NPO、ボランティア、メディアなど多くの方々にご協力をいただき、映像の収集と撮影等の記録に取り組んでいます。さらに、多くの方々のご参加、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

また、本プロジェクトの趣旨にご賛同いただける多くの方々や団体等から広く寄付を受け付けておりますので、ご支援いただけますよう、よろしくお願い致します。

平成23年6月吉日

311まるごとアーカイブス

世話人 今村文彦 (東北大学)

吉見俊哉 (東京大学)

長坂俊成 (独立行政法人防災科学技術研究所)

本件に関する問い合わせ先

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1

独立行政法人防災科学技術研究所内

「311まるごとアーカイブス」事務局

長坂・坪川・須永

電話029-863-7546

[311まるごとアーカイブスwebサイト](http://311archives.jp/) <http://311archives.jp/>